

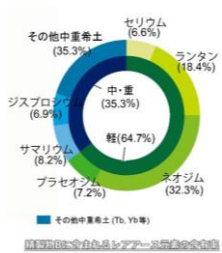
# 海洋安全保障プラットフォームの構築

(内閣府科学技術・イノベーション推進事務局)

## 令和6年度補正予算額27億円

### 事業概要・目的

- 我が国EEZ内の南鳥島海域の深海底の泥中に賦存が確認されているレアアースの生産技術システムを確立し、世界全体のサプライチェーンが特定国に依存しているレアアースの国産資源開発につなげる。
- 令和7年度に予定されている南鳥島沖の水深6,000m海域でのレアアース泥揚泥管接続試験に向けて、揚泥および生産の実証試験、所要のモニタリングシステム等の開発・実証を加速化させる。



レアアース試料  
(シュウ酸化合物として)



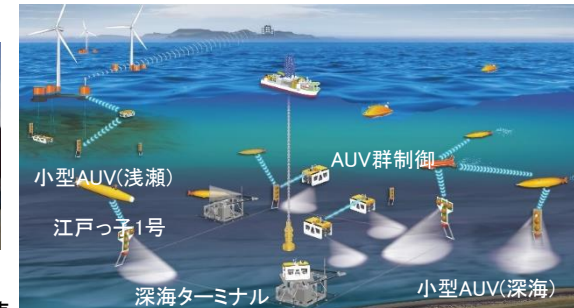
地球深部探査船「ちきゅう」によるレアアース揚泥、江戸っ子1号による環境モニタリングのイメージ

### 事業イメージ・具体例

- 経済安全保障上重要なレアアースの国産化・産業化に係る課題抽出に向け、水深6,000mの深海からのレアアース揚泥等の技術開発を加速させる。具体的には、レアアースの採掘を支援する無人潜水機 (ROV) 関連設備、水中ポンプ関連の改造工事、レアアース泥の精錬に必要なフィルタープレス機器および化学プラントの整備を行い、世界初の大水深採鉱技術の開発・実証を加速化させる。
- 海底設置型の観測装置等を整備し、海洋環境モニタリングシステムの構築を加速化する。具体的には、自律型無人探査機 (AUV) および AUV 群制御システム、深海ターミナル、江戸っ子1号 COEDO (小型海底観測装置) 等からなるシステムを構築し、予測困難な海流下への対応可能性を向上させる。

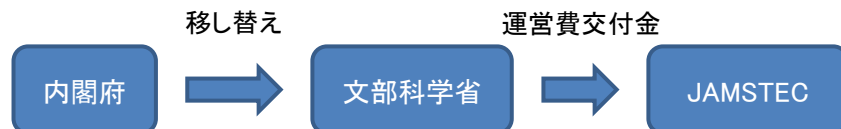


レアアース採掘に使用する  
6,000m揚泥管組立・搭載関連



海洋環境モニタリングシステム

### 資金の流れ



### 期待される効果

レアアース泥の揚泥・回収技術を実証することで、我が国のEEZにおいて今後のレアアース需要に対応できる安定した国産レアアース供給体制を実現し、特定国への過度な供給依存度を大幅に改善し、資源安全保障に貢献する。

# 生成AIの安全性確保に関する研究開発・検証等の推進

(内閣府科学技術・イノベーション推進事務局)

令和6年度補正予算額140億円

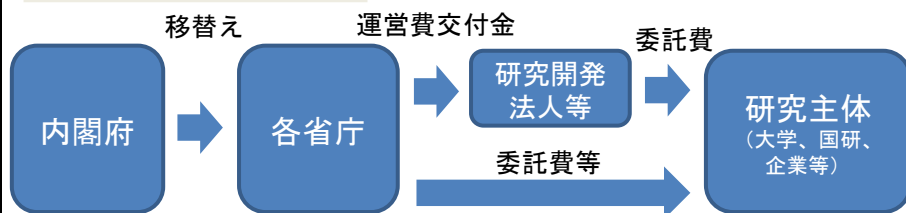
## 事業概要・目的

- 生成AIの登場により、AIのリスク（製品・サービスの安全性に関するリスク、人権侵害に関するリスク、犯罪増加のリスク等）は多様化・増大しており、AIの利用促進にあたっては、AIの安全性向上のための研究開発、検証・実証を一層推進することが極めて重要。
- 内閣府においては、実用化・事業化を目指して研究開発を推進するSIP（戦略的イノベーション創造プログラム）を実施しており、その取組の中で生成AIの活用が見込まれていることから、AIの安全性向上を図ることで、SIPで得られた成果の社会実装を一層加速。
- AIの安全性向上（リスク低減）のためには、分野横断的な対応と防災、ヘルスケア、インフラ等の分野ごとの対応が必要であり、安全なAIを開発するための手順や、AIの安全性を検証する手法の開発・検証等を行い、AIセーフティ・インスティテュート（AISI）を中心にAIの評価手法等を取りまとめる必要。
- また、国内では小型・軽量で利用目的に合致したAIモデルが求められており、スタートアップ等も支援し、安全性確保と利用促進を一体的に進めていくことも重要。

## 事業イメージ・具体例

- 安全なAI開発やAIの安全性検証のため、以下の重要分野について、研究開発、検証・実証を実施。
  - 分野横断的な安全性検証等
    - ・ AI安全性確保に関する調査・分析・普及展開事業
    - ・ AIセーフティの強化に関する研究開発構想
    - ・ AI安全性強化に向けたLLM生成テキストの検証・分析・改善等支援技術の研究開発
  - 分野別の安全性検証等
    - ✓ 防災・災害対応
      - ・ 個人情報・公的情報等を安全に活用可能な被災者支援AIサービス開発基盤
    - ✓ ヘルスケア
      - ・ 日本語版医療特化型LLMの社会実装に向けた安全性検証・実証
    - ✓ インフラ
      - ・ 生成AIを活用した大規模沖合養殖業の省力化及び自動化の推進に係る研究基盤の整備
      - ・ インフラの事故対策に活用する生成AIの技術開発実証

## 資金の流れ



## 期待される効果

- AIは幅広い分野に展開可能であり、日本が強みを有する重要分野において、AIの安全性を向上させ、安全に利用できることを示すことで、SIPの社会実装を加速し、他分野への応用・展開を図る。また、AIの安全性が高まることで、一層の利用促進が期待でき、人手不足対策や利益率向上に寄与。

# グローバル・スタートアップ・アクセラレーションプログラム

(内閣府科学技術・イノベーション推進事務局)

令和6年度補正予算額21億円

## 事業概要・目的

### (事業の目的)

日本経済のダイナミズムと成長を促すためには、スタートアップの大規模な成長とグローバル進出を可能とする「世界に伍するスタートアップ・エコシステム」の形成が不可欠であり、スタートアップのグローバル展開促進に向けた取組を総合的に推進。

### (事業の概要)

#### (1) グローバルアクセラレーションプログラムの実施

国内スタートアップの世界市場への展開、海外VCからの投資の呼び込み等を促すため、世界トップレベルアクセラレーターや世界の中核大学等との連携によるアクセラレーションプログラムを実施。

#### (2) スタートアップ・エコシステム拠点都市の機能強化

海外VCや海外起業家の誘致、国内メンターの能力向上、海外展示会出展等、各拠点都市の特性に応じて、世界に伍するスタートアップ・エコシステムを形成するために必要な機能を強化する取組や各拠点都市でエコシステムビルダーを有効活用する取組等を支援します。

#### (3) バイオコミュニティの機能強化

バイオ分野の特有の課題に対応してスタートアップ・エコシステムを強化するため、バイオ分野に精通したバイオコミュニティ・コーディネーターが主導して行う、スタートアップ案件組成に向けた産学官金の連携活動を支援。

## 事業イメージ・具体例

○設立当初からグローバル市場を目指す「ボーングローバルスタートアップ」の創出に向け、世界トップレベルのアクセラレーター等との連携によるアクセラレーションプログラムを実施します。

○具体的には、ディープテック等の競争が激化する領域や大学発スタートアップ等を対象にアクセラレーションプログラムを実施し、グローバル市場参入や海外投資家等からの投資呼び込みに係る事業戦略の策定、海外投資家や海外企業とのマッチング等を実施。

○また、海外拠点都市との連携や国際比較等を通じて拠点都市の機能強化を図るとともに、オールジャパンでの推進体制等の構築を推進します。



海外アクセラレーター



スタートアップ

- ・グローバル市場参入戦略
- ・メンタリング
- ・ネットワーク構築
- ・プロモーション活動支援等
- ・事業戦略実行支援
- ・拠点都市機能の国際比較 等



## 資金の流れ

内閣府

移替

運営費交付金

委託費等

関係省庁

独立行政  
法人

実施主体  
(民間団体等)

## 期待される効果

- 海外アクセラレーターとのネットワーク構築によるスタートアップの海外市場への参入が加速される。
- ディープテック分野の世界トップレベルのインキュベーション機能の形成が加速される。
- 都市を中心としたスタートアップ・エコシステムの成長が加速される。

# イノベーションの創出を促進する国際標準の戦略的な活用の推進

(内閣府科学技術・イノベーション推進事務局)

令和6年度補正予算額30億円

## 事業概要・目的

- イノベーションの創出を促進するには、イノベーションの成果を基に新たな市場が創造され、民間ビジネスによる市場拡大に伴って、社会実装が促進される必要がある。
- 市場拡大の際に、国際標準等で自国に有利な市場ルールを整えれば、自国のイノベーションを社会実装しやすくなる。また、国際競争力を強化し、市場からの収益拡大やビジネスの持続性を確保でき、イノベーションの再投資が行いやすくなる。このため、イノベーションの源泉となる研究開発等のみならず、イノベーションの社会実装を促進する出口政策として国際標準を戦略的に活用することが非常に重要である。
- このため、我が国として、イノベーション促進等の観点からも、政府主導で対抗するべく、我が国における国際標準化の取組(国際標準の戦略的な活用の取組)を強化する支援事業を行う。

## 事業イメージ・具体例

- 経済安全保障の観点からも、国際競争力の強化と国際市場の獲得拡大を図るため、イノベーションの創出を促進する環境整備として、我が国における国際標準化の取組強化に向けた支援事業を政府を挙げて行う。
- このため、関係省庁の重要分野等を中心とした施策の誘導・強化を国際動向等に応じて機動的に図るべく、当該施策への予算措置を行うことで、国際標準の戦略的な活用を推進する。
- 具体的には、
  - ・イノベーション促進や経済安全保障等の観点で重要な領域(先端技術、環境ルール等)での国際標準化活動(例:国際標準の開発、国際交渉活動)
  - ・国際標準化活動を持続的に支える人材基盤の整備(国際標準化に携わる専門人材の強化など)や支援基盤の整備(国際標準化を推進する民間団体における戦略機能の強化など)等に関する取組を支援する。

## 資金の流れ



## 期待される効果

- 主要な産業や先端技術等における我が国の国際競争力の強化と国際市場の獲得拡大を通じて、我が国のイノベーション促進と経済安全保障の確保を図る。